

商工観光労働部

(予 算 額) (決 算 額)

商工観光労働総務課

I 商業総務費

1	わかやま館解体撤去事業	438,442	336,650	わかやま館の解体撤去を行った。
			<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"> 翌年度繰越額 80,388 </div>	
2	県内事業者デジタル化推進事業	13,163		12,969
3	県内事業者支援体制一元化事業	85,000	82,482	県内における相談支援体制を一元化し、県内事業者の新分野展開や業態転換等の事業再構築の支援を行った。

II 商業振興費

1	和歌山県営業時間短縮要請協力金事業	2,402,107	2,402,107	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業時間短縮の要請に応じた事業者に対し、協力金を支給した。
2	飲食・宿泊・サービス業等支援金事業	1,608,737	1,607,898	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年4月～6月のうち、ひと月の売上が前年・前々年比30%以上減少した事業者に対し、従業員規模に応じて支援金を支給した。
3	飲食店感染拡大防止対策補助金事業	344,591	324,126	県の飲食店認証制度取得のための事業者の感染症予防対策に係る取組に対する支援を行った。
4	飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅱ期）事業	2,021,470	1,841,355	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年7月～9月のうち、ひと月の売上が前年・前々年比30%以上減少した事業者に対し、従業員規模に応じて支援金を支給した。
5	飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅲ期）事業	1,841,471	1,624,196	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年10月～12月のうち、ひと月の売上が前年・前々年比30%以上減少した事業者に対し、従業員規模に応じて支援金を支給した。

(前年度繰越分)

1	事業継続支援金事業	91,140	82,514	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年1月～12月のうち、ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少した県内に主たる事業所を有する事業者に対し、支援金を支給した。
2	飲食・宿泊・旅行業給付金事業	1,308,068	743,197	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年1月または2月の売上が前年比30%以上減少した事業者に対し、従業員規模に応じて給付金を支給した。

III 計量検定費

1	計量器検定・指導啓発事業	10,451	8,082
---	--------------	--------	-------

計量器等の検定・検査及び計量関係事業者の指導等を行った。

主 な 項 目	個 数
特定計量器検定・検査 (タクシーメーター、燃料油メーター等)	2,194個
はかりの定期検査(計量証明検査含む)	2,963個
燃料油メーター立入検査	247個
石油ガスメーター立入検査	17,135個

商工振興課

I 商業振興費

1	小規模事業経営支援事業	1,209,524	1,204,535
---	-------------	-----------	-----------

小規模事業者の振興と経営の安定を図るため、商工会、商工会議所及び県商工会連合会が設置した経営指導員等が行う経営改善普及事業等に係る支援を行った。

事業区分	主 な 項 目	件 数 等
商工会等	指導員による巡回指導件数	28,812件
(31商工会 7商工会議所 県商工会連合会)	指導員による窓口指導件数	58,810件
	金融の斡旋(件数)	713件
	(金額)	5,236百万円
	講習会の開催回数	1,255回
	小規模企業振興委員活動事業	7商工会議所
	エキスパートバンク事業	7商工会議所、県連合会
	広域振興等地域活性化事業	県連合会
	経営安定特別相談事業	1商工会議所、県連合会

2	中小企業団体支援事業	104,319	102,419
---	------------	---------	---------

事業協同組合、商工組合等の組織化の推進や人材養成等を図るため、和歌山県中小企業団体中央会が設置した指導員等が行う組織化指導事業等に係る支援を行った。

主 な 項 目	件 数 等
組合等の指導事業	
組合等の指導件数	3,136件
組合等の相談件数	2,839件
個別専門指導	1回
組合特定問題講習会の開催	3回

	主 な 項 目	件 数 等
3	e コマース推進事業	2,643 283
4	商工会等窓口強化支援事業	112,868 97,055

主 な 項 目	件 数 等
地域産業実態調査事業	中小企業労働事情実態調査 1回 地域問題実態調査 1回
活性化情報提供事業	毎月発行 700部×12箇月

E C市場への新規参入を目指す県内事業者の裾野拡大と事業者の競争力強化・売上拡大を目指し、講習会を開催した。
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた事業者を支援するため、商工会・商工会議所が人員を臨時的に増員して行う体制強化に係る支援を行った。

II 金融対策費

1	中小企業融資制度実施事業	96,926,172 57,127,628
---	--------------	-----------------------

県内中小企業者が、経営の安定化や事業の活性化に必要な資金を円滑に調達できるよう、金融機関及び信用保証協会と協力して融資を行った。

制 度 名		新規融資実績	
		件 数	金 額
振興対策資金	一 般	196	2,070,680
短期決済資金	一 般	48	595,700
経営支援資金	一 般	6	65,000
	セーフティ	86	1,340,800
	危機対応	113	946,370
	新型コロナウイルス感染症対応	835	18,550,493
	伴走支援	640	9,370,638
小企業応援資金	一 般	33	208,250
	小 口	491	1,667,590
	特 小	8	29,600
新規開業資金	創 業	117	509,440
	創業サポート	20	148,190
資金繰り安定資金	借 換	244	3,770,700
	セーフティ	61	1,230,800
	危機対応	22	261,000
	再生計画	48	1,157,320
成長サポート資金	人材投資	1	4,500

制 度 名		新規融資実績	
		件 数	金 額
安全・安心推進資金	エネルギー政策 推進	3	32,200
事業承継支援資金	事業承継支援	1	15,000
合 計		2,973	41,974,271

融資残高 (令和4年3月31日現在)	件 数	金 額
		22,033

2 信用補完制度実施事業 161,654 161,261

中小企業の金融円滑化のため、信用保証料の軽減及び代位弁済に係る損失補償を行った。

内 容	実 績 額
信用保証料補助	146,003
損失補償補填	15,091

III 工鉱業総務費

1 石油貯蔵施設立地対策事業 169,267 167,070

石油貯蔵施設周辺地域住民の福祉の向上を図るため、石油貯蔵施設の設置に伴う市町の公共用施設整備に対して補助を行った。

市 町 名	金 額	公共用施設種別
和歌山市	4,289	消防施設
海南市	64,235	消防施設、防災道路等
有田市	76,828	消防施設、防災道路等
紀の川市	2,112	消防施設
紀美野町	2,120	消防施設
湯浅町	5,629	消防施設
有田川町	11,527	消防施設

労働政策課

I 労政総務費

1 労働関係等調査事業 1,390 1,026
2 労働教育指導事業 1,675 1,261

労使関係総合調査及び労働条件等実態調査を行った。

労働セミナー及び企業への人権研修を行った。

・労働セミナー 参加者数 延べ352人

II 労働福祉費

1	労働者福祉協議会助成事業	2,330	2,330	労働者福祉の向上に寄与するため、労働者福祉協議会が行う講演会や研修会に対する補助を行った。
2	勤労福祉会館管理運営委託事業	22,580	22,249	勤労福祉会館「プラザホープ」の管理を指定管理者である（一財）和歌山県勤労福祉協会に行わせた。

(前年度繰越分)

1	勤労福祉会館管理運営委託事業	2,298	979	新型コロナウイルス感染症の接触感染を防止するため、勤労福祉会館内のトイレ手洗い場を自動水栓に取り替えた。
---	----------------	-------	-----	------------------------------------------------------

III 雇用促進費

1	障害者雇用対策事業	3,136	2,624	ジョブサポーターの育成・派遣及び障害者雇用の啓発活動の実施により、障害のある人が就業しやすい環境整備を行った。
2	産業を支える人づくりプロジェクト事業	53,600	48,202	〔高校生の県内就職の促進〕 工業高校におけるものづくり企業と連携した人材育成の外、工業高校以外の高校においても企業説明会や企業見学等の企業と連携した取組を実施するとともに、就職希望の高校3年生を対象にした応募前企業ガイダンスの開催や就職ガイドの作成・配布による県内企業の魅力発信を行った。 〔大学生等のUIターン就職の促進〕 県内企業の求人情報等を収集し、県外に進学した大学生等に、ホームページやガイドブック、また、大学のキャリアセンターや就職セミナーを通じて情報提供するとともに、県内外での企業説明会や県内企業でインターンシップを実施し、UIターン就職を促進した。
3	働き方改革推進・テレワーク促進事業	10,767	6,646	柔軟な働き方が可能なテレワークの普及促進や、働きやすい雇用環境の整備など働き方改革に向けた企業の取組を促進した。 ・テレワークフェア、集いの場等 参加者数 延べ414人 ・専門家による企業向け相談支援 支援企業数 16社 ・企業向けテレワーク導入セミナー（全2回） 参加者数 延べ48人
4	和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト事業	58,559	57,286	結婚や出産等で離職した女性、定年退職した方、都会で働く人などの再就職を支援するため、2月の「就活強化月間」に合同企業説明会を実施し、4月の就職を目指す和歌山県独自の「就活サイクル」を推進するとともに、再就職支援センターにおいて、個別相談やセミナー等を実施した。

5	離職者の再就職支援事業	139,106	40,524	<ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会 参加企業数 延べ252社 参加者数 270人
			〔翌年度繰越額〕 81,421	新型コロナウイルスの影響下で離職し正社員を目指す人を対象に、企業での研修の機会を提供することで、終了後、実習先企業での正社員としての安定雇用につなげた。
				<ul style="list-style-type: none"> ・直接雇用型（補助） 正社員雇用数 13人 ・間接雇用型（委託） 正社員雇用数 18人
6	教育訓練の推進事業	42,395	40,377	新型コロナウイルスの感染拡大からの事業本格再開に向け、従業員のスキル向上を図るため、雇用調整助成金の国の教育訓練加算に県として上乗せ助成を実施した。
				<ul style="list-style-type: none"> ・支給決定件数 150件

(前年度繰越分)

1	教育訓練の推進事業	25,000	15,389	新型コロナウイルスの感染拡大からの事業本格再開に向け、従業員のスキル向上を図るため、雇用調整助成金の国の教育訓練加算に県として上乗せ助成を実施した。
				<ul style="list-style-type: none"> ・支給決定件数 90件

IV 産業技術専門学院費

1	産業技術専門学院運営事業	45,109	40,971	主に新規学卒者を対象にした職業訓練を実施し、若手技能者の育成を行った。
				<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山産業技術専門学院 24,376 ・田辺産業技術専門学院 16,595
2	委託訓練事業	209,341	134,156	離転職者等を対象にした職業訓練を民間教育訓練施設等への委託により実施し、就業促進を図った。
3	産業技術専門学院整備事業	38,682	38,153	県内産業の発展に寄与する時代ニーズに対応した人材を育成するため、和歌山産業技術専門学院及び田辺産業技術専門学院の機器整備等を実施した。

企業振興課

I 貿易振興費

1	国際経済交流支援事業	8,584	6,641	〔和歌山国際経済サポートデスク〕 県内企業の国際化を推進するため、（公財）わかやま産業振興財団に委託し、和歌山国際経済サポートデスクを運営した。
				<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容：貿易・投資相談、情報収集・提供及びセミナーの開催 ・事業実績：貿易・投資相談 84件 セミナー開催 7回 参加者 178人 ※セミナー件数はジェトロ和歌山貿易情報センター共催分3回を含む。

[海外ビジネス実現支援（商社OB等派遣）]
県内企業の海外ビジネスに関する支援希望内容に応じて、海外経験豊富な商社OB等を派遣した。

- ・事業内容：海外販路開拓アドバイス、業務提携等の支援、現地通訳、商談同行
- ・事業実績：支援件数 47件（支援企業 5社）

II 物産観光幹旋費

1 優良県産品（プレミアム和歌山）振興事業

46,160

43,469

優れた県産品を選定・推奨し、和歌山県産のブランドイメージの確立を図るため、推奨品の認定を実施するとともに、各種商談会・イベントへの参加などを通じて制度及び認定推奨品のPRを行った。

- ・第14回認定 155商品（64事業者）

プレミアム和歌山推奨制度のブランド化、推奨品の販売促進を図るため、著名人によるPRや首都圏を核とした販売促進活動を展開した。

[プレミアム和歌山デジタルカタログの作成]

プレミアム和歌山推奨品を持つ事業者を紹介するバイヤー向けのデジタルカタログを作成し、プレミアム和歌山ウェブサイト上に掲載・公開した。

[プレミアム和歌山パートナー制度]

泉麻人（コラムニスト）、荻野アンナ（作家・仏文学者）、幸田真音（作家）、鈴木光司（作家）、クミコ（歌手）、弘兼憲史（漫画家）、山本一力（作家）の7人に就任していただき、情報発信をお願いした。

[プレミアム和歌山プロデュース]

審査委員特別賞を受賞した事業者に対し、審査委員の個別アドバイス及びプロデュースを行った。

[首都圏等での販売促進]（食品流通課実施分）

- ・オンラインお土産サービス「みやげっと de プレミア和歌山」を実施した。
(LINE等でプレミアム和歌山ギフトが簡単に贈れるサービス)
- ・「三井食品フードショー2021」に出展した。
(令和3年6月16日～17日 5事業者出展)
- ・食品卸業者の加藤産業(株)の「KATO VIRTUAL EXPO」に出展参加した。
(令和3年7月12日～11月30日 12事業者オンライン出展)
- ・「ご当地グルメフェア in 横浜 supported by ふるさと祭り

				<p>東京」に出展した。</p> <p>(令和3年8月13日～19日 25事業者出展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産店舗「わかやま紀州館阪急梅田店」を期間限定でオープンした。 <p>(令和3年9月24日～10月5日 48事業者出展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通販・ギフト関係者との商談を目的とした通販食品展示商談会に出展参加した。 <p>(令和3年9月30日～10月1日 10事業者出展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ東京系列通販テレビ番組「虎ノ門市場」での特集等を実施した。 <p>(令和3年10月19日、12月21日、27日 テレビ番組で3事業者を特集、ECサイトでも販売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品卸業者の加藤産業(株)の「2022春&夏の新製品発表会」に出展参加した。 <p>(令和4年1月13日～1月14日 5事業者出展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2022フェリシモパートナーズ 産地直送マルシェ」にて、認定品の販売を行った。 <p>(令和4年1月中旬～2月中旬 20事業者出展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディアモール大阪で和歌山フェアを開催した。 <p>(令和4年3月15日～16日 4事業者出展)</p>
2	わかやま産品魅力再発見事業	7,250	7,069	<p>県産品のブランド力向上と販路拡大のため、(株)三越伊勢丹との協働により、県産品のブラッシュアップ、ムードマークオンラインサイトでの販売とプロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択事業者 12事業者(食品6者、非食品6者)

III 中小企業振興費

1	地場産業等総合振興事業	3,138	1,231	<p>地場産業団体の育成指導、景気動向調査を行った。</p> <p>[零細皮革産業技術指導]</p> <p>皮革産業の体質強化を図るため、零細皮革企業を対象に、技術指導員が品質管理・技術習得等の巡回技術指導を行った。(年間延べ2社)</p> <p>[東京レザーフェア出展参加]</p> <p>皮革製品の需要開拓を図るため、国内最大の見本市である東京レザーフェアに出展参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第102回東京レザーフェア 令和3年12月1日～2日 <p>出展企業数 7社 開催場所 東京都立産業貿易センター台東館</p> <p>[異業種見本市出展参加]</p> <p>異業種への新規市場開拓を図るため、国内最大の繊維総合見本市であるジャパンクリエ</p>
2	皮革産業総合振興事業	10,174	8,625	

				<p>ーションに出展参加した和歌山県製革事業協同組合に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャパנקリエーション 令和3年12月7日～8日 <p>出展団体 和歌山県製革事業（協組） 開催場所 東京国際フォーラム 〔皮革産地展示会開催〕</p> <p>和歌山産皮革製品の優れた点を広く一般消費者に訴えるとともに、和歌山市中央コミュニティセンターで展示会を開催した和歌山県製革事業協同組合に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山レザーフェスティバル 令和3年11月20日～21日 <p>主催者 和歌山県製革事業（協組） 開催場所 和歌山市中央コミュニティセンター</p>
3	伝統工芸品リバイバル支援事業	3,329	3,064	<p>伝統工芸品産業の振興を図るため、産地組合等が実施する後継者育成事業に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済産業大臣指定伝統的工芸品 紀州漆器、紀州箆笥、紀州へら笥 ・県知事指定郷土伝統工芸品 紀州へら笥、保田紙、御坊人形、皆地笠、那智黒硯、野鍛冶刃物、紀州雛、棕櫚箆、根来寺根来塗、紀州高野組子細工
4	起業家創出支援事業	16,475	16,401	<p>県内に設置している起業家支援施設の入居者に対し、起業支援及び成長支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立情報交流センターS O H O プース 支援社数 計5社 ・わかやまビジネススクエア 支援社数 計17社
5	和歌山県産業表彰制度事業	5,515	4,609	<p>経営者や専門家等で構成する「和歌山県企業ソムリエ委員会」にて、認定企業に（株）メイワが、激励賞にワコン（株）が決定した。</p>
6	中小企業支援センター事業	42,527	36,962	<p>（公財）わかやま産業振興財団が実施する県内中小企業等の事業の構想、準備から成長の各段階における人材・技術・資金・情報等の各種相談にワンストップで対応するための支援等に要する経費に対して補助を行った。</p>
7	成長企業支援事業	56,314	45,379	<p>（公財）わかやま産業振興財団内に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、県内企業が自社の成長・拡大・発展のために必要となる中核人材（プロフェッショナル人材）の採用や副業・兼業人材の活用に対する補助及びアドバイス等の支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長企業支援補助金 交付実績 6件 ・副業兼業人材活用補助金 交付実績 2件 ・プロフェッショナル人材戦略拠点相談件数 209件 ・プロフェッショナル人材成約件数 42件 ・副業兼業人材成約件数 6件
8	和歌山産品販促支援事業	70,365	49,147	<p>県内中小企業が持つ優れた製品や技術力をPRするために行う国内外の著名な展示会へ</p>

				の集団出展をはじめとする販促活動に対して補助を行った。
				・海外展示会集団出展支援 10社
				・海外展示会個別出展支援 3社
				・国内展示会集団出展支援 23社
				・国内展示会個別出展支援 22社
9	わかやま地場産業ブラン ド力強化支援事業	112,634	84,159	賃加工・下請型のビジネスモデルから脱却し、企画・提案型のビジネスモデルを目指す地場産業の企業等（令和元年度から令和3年度採択の28企業2グループ）に対して補助を行った。
10	販売力強化支援事業	5,990	5,195	首都圏等での販路開拓を希望する企業に対し、営業拠点（わかやまビジネスサポートセンター）を提供し、専門家（A B I C等）による相談業務などの支援を行った。
				・支援者数 10者
11	わかやま塾事業	6,641	4,276	将来和歌山県を支え、世界にはばたくグローバル人材を育成するため、50歳未満の県内企業の経営者等を対象に「わかやま塾」を開講した。
				・開講回数 9回 塾生 58名
12	ものづくり改善支援事業	8,354	7,238	「ものづくり現場」で将来的に中核を担う「ひとづくり」を支援するため、「ものづくり経営改善スクール」と「インストラクター派遣事業」を行った。
				・スクール受講生 9人、インストラクター派遣社数 6社
13	きのくにICT教育（ス テップアッププログラ ム）事業	5,365	3,744	ICT人材の育成の強化のため、中・高校のICT教育に取り組む部活動（パソコンクラブ等）に外部指導者を派遣した。
				・指導者派遣回数 101回、派遣した部活動 12校、指導した部員 延べ1,256人
14	地域課題解決型起業支援 事業	79,614	66,993	地域課題解決を目的として新たに起業する者を対象に、起業に必要な経費に対して補助を行った。（起業支援金）
				・補助金交付実績 23件
				起業支援金の採択者のうち東京23区等からの移住する者を対象に移住先の市町村と連携し、移住支援金を支給した。（移住支援金）
				・補助金交付実績 1件
				起業支援金の採択者のうち希望する者を対象に、ふるさと納税型クラウドファンディングを実施し、目標額に達したプロジェクト実行者に奨励金を支給した。
				・目標額達成実績 7件
15	ものづくり製品販促デジ タル化促進事業	65,073	62,209	県内ものづくり企業が実施するウィズコロナ時代に対応した販売促進ツール導入を支援した。
				・ものづくり販促ツール作成支援補助金交付実績 111件

16	ものづくりシステムカイゼン促進事業	137,253	132,040	県内ものづくり企業が実施する競争力・生産力の向上を目的としたシステム導入を支援した。 ・ものづくりシステムカイゼン促進支援補助金交付実績 39件
17	デジタル経営診断環境構築事業	38,500	36,531	県内事業者のDX（デジタル技術を活用した経営革新）を推進するため、デジタル経営の実践状況や取り組むべき指針などを提示する診断ツールの作成及び診断を実施した。 ・デジタル経営診断ツールを用いた診断実績 168者

産業技術政策課

I 工鉱業総務費

1	水力発電施設周辺地域交付金事業	38,419	32,507 〔 翌年度繰越額 5,814 〕	水力発電施設の設置市町村が実施する公共用施設整備及び地域活性化事業に対し、交付金を交付した。 ・交付金交付実績 9件
2	海洋エネルギー創出促進事業	4,046	3,755	新たなエネルギー源として海洋エネルギーの開発と利用を促進するため、メタンハイドレート賦存量調査に取り組んだ。
3	木質バイオマス発電支援対策事業	1,000	1,000	燃料原木の安定供給体制整備のため、森林組合等からなる協議会に対し、バイオマス発電所への燃料原木運搬経費の一部を補助した。 ・補助金交付実績 1件
4	民間ロケット発射場周辺地域活性化事業	38,096	7,230 〔 翌年度繰越額 15,250 〕	ロケット初号機打ち上げに向け、渋滞に配慮した見学客誘客を図るため、誘客マニュアル策定等の準備を進めるとともに、地元の機運醸成及び全国へのPRを目的に、宇宙シンポジウム in 串本を開催した。

(前年度繰越分)

1	新エネルギー創出促進事業	78,900	78,900	和歌山県での新エネルギー活用を促進するため、太陽光発電事業等に係るワンストップサービスの提供などに取り組むとともに、バイオマス発電所の施設整備に係る補助を行った。
---	--------------	--------	--------	-----------------------------------------------------------------------------------

II 中小企業振興費

1	知的財産戦略事業	18,958	16,941	産学官の技術連携と知的財産活用により、県内中小企業の産業競争力を強化するため、（公財）わかやま産業振興財団に設置するコーディネーター3名の活動費用を補助するとともに、知的財産経営戦略セミナーを開催した。
2	先駆的産業技術研究開発支援事業	162,819	148,224	県内事業者が保有する技術シーズを活用して、商品化に向けた技術を確立するための研究開発やサービス化に向けた実証実験に要する経費に対して補助を行った。

3	アフターコロナ実用開発 実証推進事業	40,000	30,418	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付実績 19件 <p>コロナ禍で顕在化した、県内の公的機関が抱える課題の解決策となる技術の実用開発及び実証に対して補助を行った。</p>
4	ベンチャー企業等立地促進事業	8,016	4,126	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付実績 4件 <p>新たな産業の創出及び雇用機会の創出を図り、本県経済の活性化に資するため、県内に新規立地するベンチャー企業等に対し奨励金及び補助金を交付した。</p>
5	ものづくり生産力高度化事業	98,304	94,880	<ul style="list-style-type: none"> ・交付事業者数 2件 <p>県内企業がコロナ禍によるビジネス環境の変化に対応し、生産性を向上させるためのデジタル技術等の導入に要する経費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付実績 12件

III 工業技術センター費

1	地域産業活性化促進事業	111,288	100,276	<p>地域産業の活性化と新規産業の創出を支援するため、技術相談・指導、研究開発、受託試験、研修生受入、技術情報の提供等を実施した。また、（公財）JKA補助事業を活用した「液体クロマトグラフィー質量分析装置」の購入など、材料開発支援や消費者向け製品の高性能化への対応を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術指導・相談件数 9,793件 ・受託試験等件数 10,161件
2	コア技術確立事業	7,603	6,887	<p>県内企業のニーズ調査や市場動向等により、今後5～10年先の県内企業の競争力の維持及び強化に必要となる技術（コア技術）について、令和2年度から3箇年の計画で3テーマを設定し、新たな研究開発を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ1「太陽光アップコンバージョンフィルムの開発」 （これまでの成果：新規材料を開発、特許出願） ・テーマ2「化成品の生産性向上のための光反応手法の開発」 （これまでの成果：新たな化学反応の開発に成功） ・テーマ3「微生物の育種技術の高度化」 （これまでの成果：開発した醸造用酵母を利用し、県内企業が清酒を製造販売）

企業立地課

I 企業立地対策費

1	企業誘致活動事業	15,608	12,353	<p>関西圏、首都圏を中心に積極的な企業訪問を実施するとともに、企業立地連絡協議会を通じ、企業情報の収集、各種資料の作成を行った。</p>
---	----------	--------	--------	-----------------------------------------------------------------------

2	企業立地促進対策助成事業	2,167,335	2,108,252	「企業立地促進対策要綱」に基づき、新規立地した誘致企業や増設した県内企業に対し優遇措置を行った。
3	企業立地促進資金融資事業	4,687	4,686	県内へ工場を新設する企業の設備投資等資金融資の償還金及び企業立地促進資金貸付基金運用利子を積み立てた。
4	企業誘致広報事業	7,318	5,436	本県の企業立地環境、企業用地等をまとめた「企業立地ガイド」、「用地位置図」及びホームページの作成やニュースサイトへの広告掲載など本県の企業立地環境の広報を行った。
5	あやの台北部用地開発事業	550,362	550,046	ニーズの高い内陸型大規模用地確保を目的に南海電気鉄道（株）、橋本市及び県で共同開発するあやの台北部用地の造成工事等について、事業主体の橋本市を支援した。
6	I C T和歌山推進事業	5,453	3,389	I C T企業のさらなる誘致に向け、県外I C T企業の役員等の県内視察を支援するとともに、東京及びオンラインで企業誘致・転職なき移住フォーラムを開催した。

観光振興課

I 物産観光幹旋費

1	観光センター運営事業	24,707	24,705	首都圏・東海圏における観光物産情報発信及び観光客誘致活動の拠点として、「わかやま紀州館」及び「名古屋観光センター」の運営を行った。
---	------------	--------	--------	-------------------------------------------------------------------

II 観光費

1	観光客誘致対策事業	90,513	80,617	県観光連盟、市町村及び各観光関係団体と連携し、観光客の誘致を図るため、観光情報の提供、観光統計調査等を行った。
2	戦略的首都圏対策事業	21,579	21,579	首都圏における世界遺産「高野山・熊野」等本県への誘客活動及び情報発信を行った。
3	わかやま「観光力」推進事業	200,448	193,804	本県が有する多彩な観光資源を活用し、地域が一体となって魅力ある観光地づくりに取り組むとともに、戦略的な観光プロモーションを行った。
4	世界遺産等推進事業	30,337	26,662	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全・活用の推進と周知・啓発及び日本遺産を活用した情報発信等を行った。
5	和歌山県世界遺産センター運営事業	8,757	7,442	世界遺産の保全・活用及び情報発信の活動拠点である「和歌山県世界遺産センター」の運営を行った。
6	水の国、わかやま。事業	30,076	29,000	「水」をテーマに「和歌山の魅力」を発信するとともに、「水」にまつわる体験事業者への補助や看板整備など受入環境の整備を行った。また、和歌山の自然を活かしたアウトドア体験の充実及び情報発信等を行った。
7	わかやま歴史物語事業	9,259	6,069	歴史・文化をテーマに様々な地域資源を盛り込んだ「100の旅モデル」についてWEBサイト等による情報発信を行うとともにスタンプラリーを実施し、県内の周遊促進・滞

8	サイクリング王国わかやま事業	16,094	16,093
9	県民リフレッシュプラン販売促進事業	7,523,680	4,087,617
			3,436,063
10	宿泊事業者事業継続支援事業	878,883	836,417

〔翌年度繰越額〕

在時間の延長を図った。

「和歌山」＝「サイクリングの最適地」のイメージを定着させるとともに、県内の周遊促進・滞在時間の延長を図るため、モバイルスタンプラリーや情報発信及びサイクリング環境の充実を行った。

新型コロナウイルス感染症により大きなダメージを受けた県内観光産業を支援するため、県内の宿泊施設や観光施設を利用する旅行代金の割引支援を行うとともに、土産物店等で利用できるクーポンを付与することで、旅行需要や県内消費の喚起を行った。

旅行者が安心して旅行を楽しめる環境の整備を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内宿泊事業者が実施する新たな需要を創造する事業や安全・安心を確保するための事業に係る経費に対して補助を行った。

観光交流課

I 観光費

1	国際観光推進事業	70,088	61,105
2	教育旅行誘致推進事業	15,492	13,274
3	外国人観光客受入環境整備事業	46,662	41,878
4	外国人個人観光客誘客促進事業	43,558	33,404
5	外国人観光客受入環境高度化事業	15,000	15,000

海外26市場をターゲットとして、市場ごとの嗜好と旅行熟度に応じた方法により、旅行エージェント・メディアの招請、観光プロモーターを通じた情報発信、近隣府県等との連携による広域周遊観光の取組等を実施した。

国内外からの教育旅行の誘致拡大を図るためのプロモーションを実施するとともに、現地での下見支援など、受入態勢の充実を図った。

受入校数	県内	県外	海外
575	319	256	—

外国人観光客が快適・安心・安全に県内を周遊できる環境を整備するため、市町村が実施する観光資源の整備に対する支援、和歌山県版通訳ガイド育成、観光関係事業者向けの多言語電話通訳・簡易翻訳サービス事業等を実施した。

外国人個人観光客の誘客を促進するため、公式多言語ウェブサイト・SNSの運用、海外メディアを通じた情報発信、多言語ガイドブック等の作成を行った。

外国人観光客が紀伊半島をストレスなく周遊できるよう、バス停等における多言語案内表示等の整備を実施するとともに、MaaSに関する実証実験を行い、公共交通の利用環境の充実を図った。